プラごみが流出する量より 減る量が多い社会をつくる



1、自己紹介と現在の活動内容

3

わたしたちの理念

プラごみが流出する量より減る量が多い社会をつくる

私たちのミッション

プラごみ 流出マップで 社会啓発 海洋プラごみ 処分チェーン を社会実装 流出防止や 循環型社会に 役立つ 情報発信

2、なぜ今の活動をやろうと思ったか

状況

海ごみの回収は 追いついていない 2

この10年で 状況は急速に 悪くなった

標

海洋プラごみが 増える量より 減らす量が 多くなるように 4

子供たちに、 海洋プラごみが 減っていく 未来をつなぐ

3、今の活動を通じて何を伝えたいか

今の状況を放置するとどうなる?

- ①健康の脅威
- ②持続リスク
- ③評価が低下

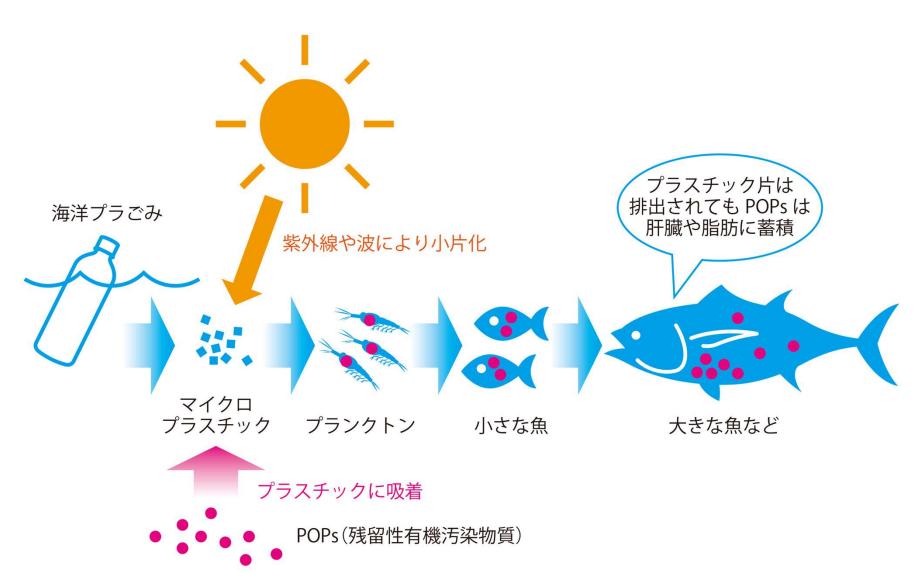
海のプラごみを減らすためにどうする?

①漁業者の 負担を軽減

- ②低コストの 処分チェーン
- ③流出させない生活習慣

今の状況を放置するとどうなる?

1健康の脅威



今の状況を放置するとどうなる?

②持続リスク

持続可能な社会が維持できなくなる危険性がある

日本は年間流出量 2~6万トンの 赤字体質 日本は太平洋に 流出する直前の 最後の砦

今の状況を放置するとどうなる?

③評価が低下

責任があるのに知らないふりをすれば国際評価は下がる

✓ 国連から化石賞を贈られるほど評価が低下

あなたも 実は関係者 2/3は 街由来 イフラごみ 流出上位国 に輸出して きた

海のプラごみを減らすためにどうする?

漁業者が費用を気にせず漂流ごみを拾える体制をつくる

①漁業者の負担を軽減

一般ごみ

産廃ごみ

解決すべき課題

漂着ごみ

予算あり 市区町村 予算あり 都道府県 ∕ 漁業者が 処分費用を負担 、する社会制度 ∕

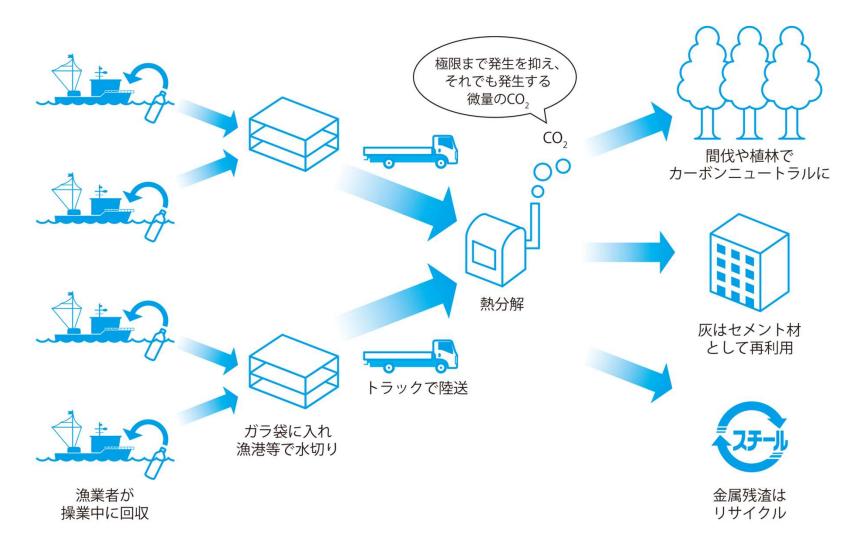
漂流ごみ

一部の内海・湾内 のみ予算あり 処分費用は 陸ごみの 数十倍かかる

海のプラごみを減らすためにどうする?

低コストで海ごみを処分できる処分チェーンをつくる

②低コストの処分チェーン



海のプラごみを減らすためにどうする?

まずは「4R」を実践しつつ、廃棄ではなく再資源化する 循環型社会の生活スタイルを身につけよう。

③流出させない生活習慣

リサイクル

(捨てるときに資源に戻す)

リユース

(捨てずに再び使う)

リデュース

(資源使用量を減らす)

リニューアブル

(再利用しやすい材料を選ぶ)

4、無理や我慢をせずに出来ること

時間や場所の制約がない参加方法

写真 ボランティア に参加 電子ブック を読んで 課題を知る

SNSで いいね!や シェアする

無理や我慢をせずに出来ること

1) 写真ボランティアにご参加ください!



プラミみ流出マップ
OSA Ocean Sweep
OS

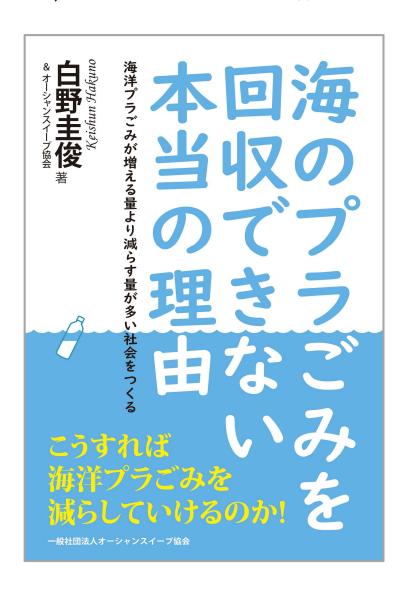
流出させない生活習慣の実践者を増やすために、リアリティある流出の現場写真をご提供ください。

https://activo.jp/articles/84418



無理や我慢をせずに出来ること

2) 電子ブックを読んで本当の課題を知ってください!



海洋プラごみ問題について解説した書籍**『海のプラごみを回収できない本当の理由』**を、Amazonの電子ブックとして販売しています。

https://www.amazon.co.jp/dp/B09NK LSY95



Amazon 出品最低価格 99円で 販売中

無理や我慢をせずに出来ること

3) SNSにいいね!、フォロー、シェアをお願いします!

<u>○公式twitter</u> (@oceansweep1)

https://twitter.com/oceansweep1

●公認ライターtwitter (@hackkei)

https://twitter.com/hackkei





●公式facebook (@OceanSweepAssoc)

https://www.facebook.com/OceanSweepAssoc





5、これからどんな未来にしていきたいか

めざしている未来

くいつまでも おいしい魚を 安心して 食べられる

持続可能な 未来を 子供たちに 引き継ぐ 世界に リスペクト され続ける 日本



https://ocean-sweep.com



〒350-1311 埼玉県狭山市中新田1083-3 info@ocean-sweep.com